

知的資本日本株ファンド

追加型投信/国内/株式

Capital Asset Management

商品概要

商品分類	追加型投信/国内/株式
投資対象	知的資本日本株マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場する、知的資本が豊富な国内企業の株式を主要投資対象として、中長期的に信託財産の成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
設定日	2021年4月15日
信託期間	2021年4月15日(設定日) から2030年12月25日まで
決算日	年2回。原則、6月25日および12月25日(休業日の場合は翌営業日)

ファンドの状況

基準価額	
基準日	2021年8月31日
基準価額	10,065 円
前月比	+428 円
純資産総額	2.81 億円
前月比	+0.13 億円

期間収益	
1 ヵ月	4.4%
3 ヵ月	3.6%
6 ヵ月	-
1 年	-
設定来	0.6%

分配金実績 (1万口あたり、税引き前)		
第1期	2021年6月25日	0 円
合計		0 円

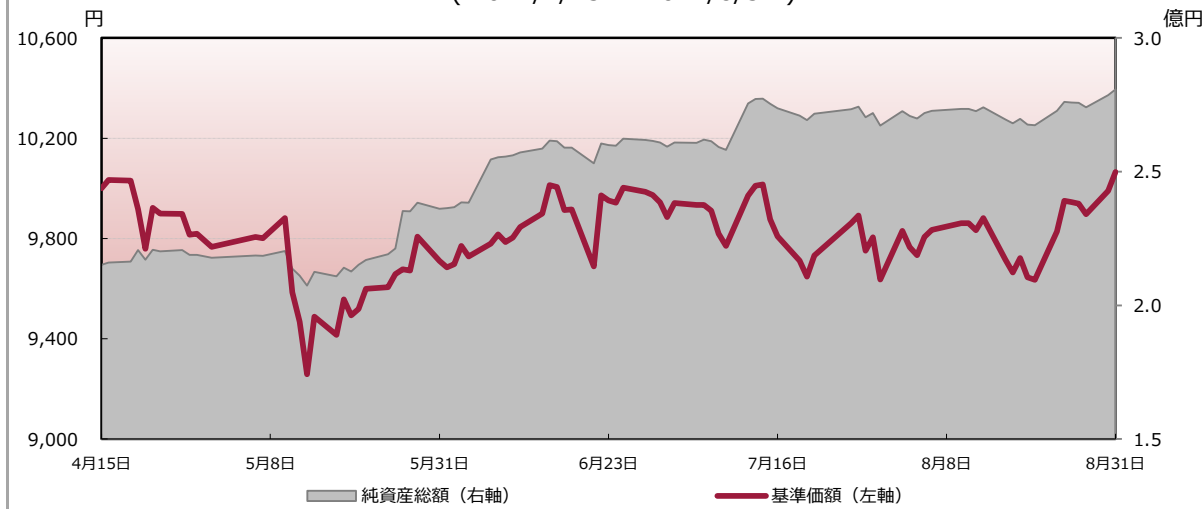
※ ファンドの期間収益は、収益分配金(税引前)を再投資したと仮定して計算した理論上のものである点にご留意下さい。

資産構成	
知的資本日本株マザーファンド	99.9%
現金・その他	0.1%
合計	100.0%

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

基準価額・純資産総額の推移等

(2021/4/15 ~ 2021/8/31)



記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したもので、正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

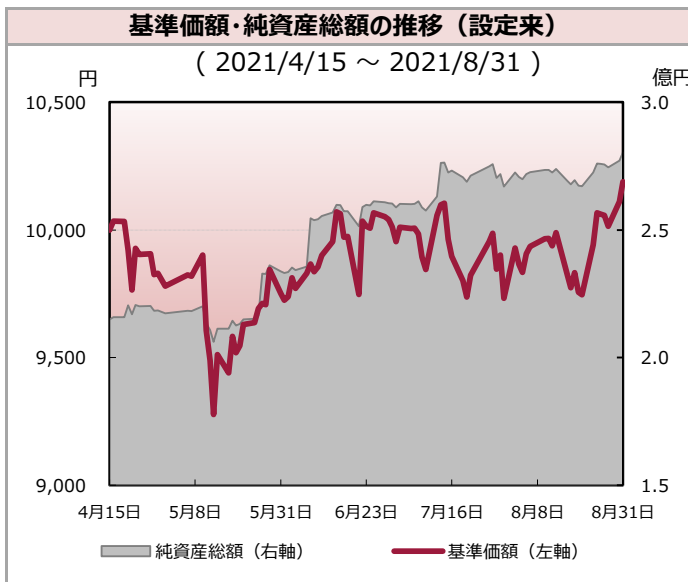
取得申込に際しては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をご確認ください。

知的資本日本株ファンド

追加型投信/国内/株式

Capital Asset Management

投資先：知的資本日本株マザーファンドの状況



現 状	
基準日	2021年8月31日
基準価額	10,189 円
前月比	+457 円
純資産総額	2.80 億円
前月比	+0.13 億円

期間収益	
1か月	4.7%
3か月	4.5%
6か月	-
1年	-
設定来	1.9%

資産構成	
国内株式	88.1%
株価指数先物	11.2%
現金・その他	0.7%
合 計	100.0%

* 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

組入銘柄数
93

業種構成比	
業 種	組入比率
電 気 機 器	19.4%
情 報・通 信 業	14.9%
サ ー ビ ス 業	10.9%
化 学	9.6%
小 売 業	8.2%
機 械	6.5%
精 密 機 器	6.1%
食 料 品	5.9%
そ の 他	18.5%
合 計	100.0%

* 業種は東証33業種分類に準拠しています。

* 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

組入銘柄上位10銘柄		
銘柄名	業 種	組入比率
H O Y A	精 密 機 器	1.9%
リクルートホールディングス	サ ー ビ ス 業	1.6%
ミスミグループ本社	卸 売 業	1.4%
日 本 電 産	電 気 機 器	1.4%
シ ス メ ッ ク ス	電 気 機 器	1.3%
味 の 素	食 料 品	1.3%
島 津 製 作 所	精 密 機 器	1.2%
J S R	化 学	1.2%
オリエンタルランド	サ ー ビ ス 業	1.2%
キ ッ コ - マ ン	食 料 品	1.2%
合 計		13.7%

記載された事項は、キャピタルアセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

知的資本日本株ファンド

追加型投信/国内/株式

Capital Asset Management

マンスリーコメント

■国内株式市場

8月前半の国内株式市場は、概ね順調に上昇しました。新型コロナウイルスの変異種による感染拡大が国内外で見られたものの、良好な第1四半期決算を発表した好業績銘柄への買いが継続し、8月13日には7月の高値にほぼ並ぶ水準にまで上昇しました。他方、当月後半の国内株式市場は、急落後に切り返す、値動きの荒い展開でした。まず、米国や中国で事前予想を下回る経済指標が相次いで公表され、またアフガニスタンでの地政学的リスクの発生が悪材料となりました。更に、国内ではコロナ感染者数の拡大が続き、部品不足からトヨタ自動車が減産計画を明らかにしたことなどから見送りムードが強まり、20日には約2か月振りの安値にまで売り込まれました。しかし、その後は、割安感の強まった優良株を中心に、急速に買い戻される展開へと転じました。終盤には、注目されていた米国FRB（連邦準備制度理事会）議長の講演内容が事前予想の範囲内であったことから国内外の金融市場で安心感が広がり、国内株式市場も当月の高値にまで買い上げられました。8月のTOPIX（東証株価指数）は、1,960.70ポイント（前月末比+3.1%）で終えました。

■運用状況

当ファンドは、引き続き、所定の方針に則り、現有ポートフォリオをベースに安定運用に努めました。また、追加の資金流入に合わせて、業績が堅調なNTTデータやホシザキなどの株式を若干買い増しました。当月のパフォーマンスは、緊急事態宣言の延長が悪材料視されたコーセー（前月末比▲22.9%）やシャープ（同▲13.1%）などの株価が下落しましたが、第1四半期の業績が好調だったキッコーマン（同+23.6%）、第一三共（同+21.1%）、ダイキン工業（同+20.9%）などの株価が揃って大きく上昇し、当月末の当ファンドの基準価額は10,065円（前月末比+4.4%）となりました。

■今後の見通し

国内では、引き続き新型コロナウイルスへの対応が最優先課題である中、与党自由民主党では総裁選挙が行われ、次の衆議院議員選挙に向けて体制刷新が進む見通しとなりました。新たな経済対策など、今後打ち出されるであろう新政策に対する期待が国内株式市場では高まりやすい状況となっています。他方、米国では、金融政策当局の動きは今のところ予想の範囲内であるものの、経済指標は予想を下回るものが増え、同国の金融市場が変動する可能性が残ります。よって、国内株式市場に対するプラス要因とマイナス要因は引き続き今後も混在すると見込まれます。一方、当ファンドが注目する多くの企業は、コロナ禍においても、それぞれ独自の競争力を強みに今期も業績を順調に挙げつつあります。よって、国内外の短期的な変動に惑わされることなく、当ファンドは引き続き中長期的な視点に立って有望企業への投資を継続し、信託財産の安定的な成長を目指していく計画です。

(ご参考) 東証株価指数 TOPIX

(2021/4/15 ~ 2021/8/31)



出所：ブルームバーグのデータを基にキャピタル アセットマネジメントが加工して作成

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

知的資本日本株ファンド

追加型投信/国内/株式

Capital Asset
Management

ファンドの特色

- 日本の金融商品取引所に上場する企業のうち、知的資本が豊富な国内企業の株式を主要投資対象とし、中長期的に信託財産の成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
- ポートフォリオへの組入銘柄の選定に当たっては、銘柄スクリーニングを2段階で実施します。
 - ① 日本の金融商品取引所に上場している株式の中から、株価純資産倍率等を活用して知的資本が豊富な企業の株式を投資候補銘柄として抽出します。
 - ② 上記の投資候補銘柄の中から、時価総額等を活用して流動性が高い銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
- ファミリーファンド方式を採用し、実質的な運用は知的資本日本株マザーファンドにおいて行います。

※ なお、市況動向および資金動向により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドに係わるリスクについて

当ファンドの基準価額は、主に以下のリスク要因により、変動することが想定されます。

株式の価格変動リスク	当ファンドは、実質的に株式に投資しますので、当ファンドの基準価額は、株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
信用リスク	株式を発行する企業が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該企業の株式等の価値は下落し、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に株式を売買できないことがあります。このような場合には、効率的な運用が妨げられ、当該株式の価格の下落により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
解約によるファンドの 資金流出に伴う 基準価額変動リスク	解約によるファンドの資金流出に伴い、保有有価証券等を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって、保有有価証券を市場実勢と乖離した価格で売却せざるをえないこともあり、基準価額が大きく下落することがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

知的資本日本株ファンド

追加型投信/国内/株式

Capital Asset Management

お客様にご負担いただく費用

①お申込時に直接ご負担いただく費用

■購入時手数料：申込受付日の基準価額に**3.3%（税抜3.0%）**を上限として、販売会社がそれぞれ定める手数料率を乗じて得た額とします。

②ご解約時に直接ご負担いただく費用

■信託財産留保額：換金申込受付日の基準価額に対して**0.1%**

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

■信託報酬：信託財産の純資産総額に対して年率**1.485%（税抜1.35%）**

■その他の費用：有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※上記の費用（手数料等）の合計額は保有される金額および期間等により異なりますので、予め表示することができません。

※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

【お申込に際してのご注意】

1.当ファンドは、知的資本日本株マザーファンドへの投資を通じて、実質的に日本の金融商品取引所に上場する企業の株式など値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。また、ファンドは預金または保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。

2.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。お申込の際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

3.この資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは予想するものではありません。

4.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

委託会社その他関係法人の概要

■委託会社： 信託財産の運用業務等を行います。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第383号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会/ 一般社団法人日本投資顧問業協会

■受託会社： 信託財産の保管・管理業務等を行います。

三井住友信託銀行株式会社

■販売会社

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	日本一般投資顧問業協会	金融先物取引業協会	第二種一般社団法人金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第62号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。